

行政・団体

B!

文字サイズ 小 中 大

▶東事協ら4団体／共通課題解決へ協議会設立／分野横断で人材不足やB I M対応 [2019年7月24日1面]



会見する（左から）児玉会長、山内会長、武井会長、高倉支部長

東京都建築士事務所協会（東事協、児玉耕二会長）ら建築設計関連4団体は、会員企業が抱える課題に共同歩調で対処する「東京建築設計関連事務所協会協議会」（T A R C）を立ち上げた。人材不足や後継者問題、B I M（ビルディング・インフォメーション・モデリング）への対応などを横断的に議論。成果を各団体が共有し課題解決につなげる。

T A R Cは東事協に加え、東京構造設計事務所協会（山内哲理会長）と東京都設備設計事務所協会（武井一義会長）、日本建築積算事務所協会関東支部（高倉東支部長）で組織する。10日に活動を開始した。

意匠、構造、設備、積算と専門分野が異なる設計関連団体が、組織を設けて共通課題を話し合う。協議内容は▽後継者問題と人材育成▽B I Mへの対応▽行政への働き掛け—などを想定する。建築設計関連事務所が抱える課題を共有した上で、解決手法を探る。

23日に4団体のトップが東京都内で会見した。児玉会長は「人材不足や高度化する技術への対応などの課題に対し知恵を出し合う」と述べ、T A R Cを通じ社会ニーズに対応していく考えを示した。山内会長は「専門家集団として力を合わせて課題解決を図る」と力を込めた。

設備設計事務所の立場で武井会長は「働き方改革や生産性向上を加速し、若手人材の確保・育成を進める」、高倉支部長も「得意分野を生かし、業界の発展に尽力する」と話した。